

## 質疑・回答書

令和6年1月18日

発注番号	50501023	開札日	令和6年1月26日
業務名	灰塚配水場（4500 m <sup>3</sup> 配水池）耐震補強工事		
質問番号	質疑事項	回答	
1	4週8休（週休2日）工事について 本工事は4週8休（週休2日）工事の対象外と考えてよろしいでしょうか。	本工事は4週8休（週休2日）工事の対象外です。	
2	技術者等の配置期間について 入札実施要領で工期が令和6年5月1日から令和7年10月31日となっていますが本工事に配置する現場代理人及び建設業法第26条に基づく技術者の配置期間は、令和6年5月1日からと考えてよろしいでしょうか。契約締結日時点で他工事に従事していても、令和6年5月1日の時点で手持ち工事がなければよろしいでしょうか。	本工事に配置する現場代理人及び建設業法第26条に基づく技術者の配置期間は令和6年5月1日の時点で手持ち工事がなければ問題ありません。	
3	専門技術者（施工管理技術者）の選出について 防水工事特記仕様書7で専門技術者の資格要件について記載が	受注者の社員からの配置が望ましいですが、資格者が受注者の社員に居ない場合、施工計画書等の中で届出た下請け業者の中に資格者が居	

	<p>ありますが、元請業者で資格要件を満たす専門技術者を配置できない場合は、防食塗装工事専門の下請業者から選出してもよろしいでしょうか。</p>	<p>れば問題ありません。</p>
4	<p>配水池内部への進入口について 配水池内部への進入口は既設 FFU 製人孔蓋がある 2 箇所のみでしょうか。また、配水池内部へ資材・足場材等の搬入・搬出用の作業用開口部を設けることは可能でしょうか。</p>	<p>ご質疑の通り、配水池内部への進入口は、2 箇所です。また、原則として開口部を設ける予定はありません。</p>
5	<p>配水池屋上の利用について 配水池屋上に資材、仮設材の仮置きは可能でしょうか。</p>	<p>積載重量に注意して、配水池内部への資材搬入や当日の作業用材料の仮置きは構いません。</p>
6	<p>取合い補修について 設計書 P14 で「取合い補修 1 式」が計上されていますが、取合い補修とは具体的にはどのような内容を指しているかご教示願います。</p>	<p>取合い補修とは既設流動壁撤去等を指します。</p>
7	<p>現場事務所について 灰塚配水場内に現場事務所およ</p>	<p>灰塚配水場内に設置可能です。</p>

	<p>び仮設トイレの設置は可能でしょうか。</p>	
8	<p>設計書表紙の所要日数について 設計書の表紙に所要日数379日間とありますが、工期（令和6年5月1日から令和7年10月31日まで）に比べて短い期間になっています。所要日数とは何の日数を示しているかご教示願います。</p>	<p>379日は、実働日数に不稼働係数をかけ、準備工と後片付けの日数を加算したものです。 この日数に諸々の手続きに係る日数を加算して工期を定めております。</p>
9	<p>無収縮モルタル圧入について 図面8/45の5、6、7で「頂部200mm以上は無収縮モルタル圧入」となっていますが、設計書では無収縮モルタル圧入の費用が計上されていないように思われます。契約後、設計変更にてご対応していただけると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>屋上からのコンクリート打設としています。頂部の無収縮モルタル圧入は不要ですので、構造標準図の該当箇所は、適用されません。</p>
10	<p>配水池内部について 配水池内部はいつ頃、空になるかご教示願います。</p>	<p>令和6年4月中に配水池内部を空にする予定です。</p>
11	<p>基礎杭打ち工について 杭打工法は中掘根固め工法でお考えですが、設計書でクローラ式杭打機の分解組立及び輸送にか</p>	<p>ご質疑の、クローラ式杭打機の分解組立及び輸送にかかる費用については、明細書第2-1基礎杭打ち工の杭打ち工に含んで計上しています。</p>

	<p>かる費用が計上されていないようですが、契約後、設計変更にてご対応していただけると考えてよろしいでしょうか。</p>	
1 2	<p>基礎杭打ち工について</p> <p>ポンプ室と配水池に挟まれた増し杭の施工位置ですが、構造物との距離が近く、中掘根固め工法での施工が困難な場合、他の杭打工法に変更は可能でしょうか。また、その場合、設計変更にてご対応可能でしょうか。</p>	<p>設計図において、壁面からの離隔距離は考慮していますが、杭施工上、必要であれば、杭配置の調整は可能です。</p> <p>施工が困難な場合、同等の耐力等が得られる工法であれば設計変更も可能と双方協議の上、判断いたします。</p>
1 3	<p>基礎杭打ち工について</p> <p>設計図面 3 / 4 5 に「地質調査地点 No. 2 昭和 5 6 年 1 月」とありますが、図面では土質が不明です。杭打施工箇所の柱状図をいただけないでしょうか。また基礎杭断面図もいただけないでしょうか。</p>	<p>添付資料①を参照してください。</p>
1 4	<p>基礎杭打ち工について</p> <p>本工事の基礎杭工事の工法は「中掘根固め工法」ですが、土質（N 値）条件が記載されておられません。土質により施工単価は大きく変わりますので、土質条件の明示をお願いいたします。</p>	<p>添付資料①を参照してください。</p>

1 5	<p>駐車場について</p> <p>配水池西側の駐車場は、PHC杭仮置場、セメントプラント、ノッチタンク等の施工ヤードとして使用可能と考えてよいでしょうか。</p>	<p>施工ヤードとして使用可能と考えて下さい。必要な範囲については、監督員の承諾を得て下さい。</p>
1 6	<p>既設流動壁について</p> <p>既設流動壁は図面43/45では解体撤去するようになっていますが、その費用については、設計書のどの項目に含まれていると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>質疑6の取合補修に含みます。</p>
1 7	<p>水質試験について</p> <p>施工完了後の水質試験（水道法第4条 51項目）については、発注者で行うと考えてよいでしょうか。</p>	<p>共通仮設費にて計上しています。</p>
1 8	<p>場内への進入経路について</p> <p>工事期間中の場内への出入り口は正面の出入り口もしくは管理棟別館近くの西門のどちらを使用すると考えればよろしいでしょうか。</p>	<p>通常の進入路として西門を使用していただき、正面の出入り口を使用する場合は監督員と協議をお願い致します。</p>
1 9	<p>階段復旧工事について</p> <p>図面40/45で「外部階段：一時解体、現状復旧」となっています</p>	<p>添付資料②を参照してください。</p> <p>側桁：溝型鋼 [-9×300×90 持出梁：H型鋼 H-400×200×8</p>

	<p>すが、設計書 P 1 0 ~ 1 2 では鋼材費 4. 5 t や工場製作費 4. 5 t などが計上されており現状のアルミ手摺およびコンクリートで復旧するのではなく、鉄製の階段で復旧するように思われます。鉄製の階段で復旧するなら参考図面等をいただけないでしょうか。</p>	<p>段板 : PL-4.5 手摺 : GP-34.0 H-1100 支柱 : GP-34.0 @1500 手摺子 : GP-27.2 @150 手摺子受 : GP-27.2</p>
2 0	<p>緊急時給水所復旧工事について 設計書 P 1 2 で緊急時給水所復旧工事で各数量が計上されていますが、図面で位置、工事内容が確認できません。詳細図を明示していただけないでしょうか。</p>	<p>添付資料②を参照してください。 鉄筋コンクリート造 50 角二丁タイル張り 8250W×1500D×1050H</p>
2 1	<p>後施工せん断補強筋について 後施工せん断補強筋の施工前に既設構築物の鉄筋探査が必要です。契約後、設計変更にてご対応していただけると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>共通仮設費にて計上しています。</p>
2 2	<p>内部足場について 設計書 P 5 で内部足場 (H = 4. 7 5 m) 5 9 9 m<sup>2</sup> となっていますが、H = 4. 7 5 m では足場高さが不足しているように思えます。契約後、設計変更にてご対応</p>	<p>ご質疑の、上部に不足する高さ範囲は、施工空間として設けています。</p>

23	<p>していただけると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>発生土について 設計書P6で掘削工260m<sup>3</sup>、埋戻工(バックホー0.35m<sup>3</sup>、発生土)70m<sup>3</sup>となっていますが、掘削工により生じた発生土は配水場内に仮置きできると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>掘削工により生じた発生土は配水場内に仮置きできると考えて下さい。</p>
----	---	---